

第4回帯広市総合計画策定審議会における主なご意見(平成30年8月7日開催)

テーマ	主なご意見
農林業	<p>○小麦をはじめとした作物について、地域の気候に適した育種を進めていくべき。</p> <p>○今後、加工用野菜の需要が増加していくことが想定されることから、それらを取扱う事業者を誘致することも考えていくべき。</p> <p>○ICTなどの先進技術を活用した農業用機械の普及を進めていくため、国が中心となり、補助や助成などの支援策を講じていくべき。</p> <p>○農業分野において、労働力が不足している状況にあることから、外国人労働者の活用を含めた対策を講じていくべき。</p> <p>○地域の様々な団体などと連携し、十勝全体として農産物の付加価値を高めていく必要がある。</p> <p>○耕地防風林について、農業の視点のみならず、観光資源をはじめとした多面的な機能を評価し、経費負担の手法等を考えていくべき。</p> <p>○台風被害における農地の災害復旧にしっかりと取り組んでほしい。また、将来を見据え、河川の治水対策を講じていくべき。</p> <p>○シカやカラスなどによる鳥獣害が増加しているので対策を講じていくべき。</p> <p>○農作業労働力の確保に向け、外国人労働力を産地間（北海道と本州など）で活用し合う仕組みも検討していく必要があると考える。</p>
商工業	<p>○産学官連携が成功している地域には、必ずすばらしいコーディネーターがいることから、産学官連携を円滑に進めていくためには、コーディネーターの確保・育成が重要である。</p> <p>○コーディネーターは、極力、地域内で発掘・育成すべき。</p> <p>○廃業率が開業率を上回っていることから、既存の中小企業を存続させていくという視点が重要であると考えており、事業承継の促進をはじめ、廃業を減らすための取組が必要である。</p> <p>○企業が持っている課題に対して、相談先が一目でわかるような一覧表や見取り図があると良いと思う。</p> <p>○人材の確保に向けて、企業自体の魅力向上・魅力発信の取組も必要である。</p> <p>○農業の分野では、事業承継に際して法人化を進める方法もあるが、廃業する際の農地の処分方法などについて、不明な部分が多く取組が進んでいない印象を受ける。</p>

第4回帯広市総合計画策定審議会における主なご意見(平成30年8月7日開催)

テーマ	主なご意見
観光	<p>○帯広のDMOについて、アウトドアメーカーのブランド力が強すぎて他の地元事業者の取組が埋もれてしまっているのではないかと懸念。</p> <p>○富裕層をターゲットにした取組のみならず、多様な観光需要に応じて、様々な地域事業者が活躍できるような取組も重要である。</p> <p>○DMOの自走化をはかるためには、大都市圏で観光商品を紹介・販売を行う送客との連携が必要である。</p> <p>○十勝においては、スケールの大きな農業そのものが観光コンテンツになり得る。農業観光を提供していく仕組みが整えば、さらなる観光振興も可能であると考えられる。</p> <p>○今後、インバウンドの増加が見込まれる中で、帯広市では現状でもホテルの稼働率が高く、宿泊先が不足することが想定されることから、受入体制の検討が必要である。</p> <p>○農業を観光資源として、より活かしていくために農業のテーマパークのような場所があると面白いのではないかと懸念。</p> <p>○サイクルツーリズムに関しては、地域として目指す姿をしっかりと定め、進めていくことが重要である。</p> <p>○市内に在住している外国人の生活の利便性向上という視点から交通体系を検討することが、結果として外国人観光客の利便性向上にもつながるのではないかと懸念。</p> <p>○北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録を目指した活動があることを踏まえ、帯広市でも八千代A遺跡をはじめとした文化遺産を知的観光資源として、活用していくべきではないかと懸念。</p>